

## 名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

### ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	放射線療法を行った中咽頭癌の治療成績、CT 画像の解析による臨床的有用性の検討		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2022年 9月		
研究実施診療科	放射線科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2021年 7月 5日	
	院長が研究実施を許可した日	2021年 7月 6日	
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院放射線科において、中咽頭癌に対して放射線治療を受けた方		
対象期間	(西暦) 2004年 1月 ～ (西暦) 2019年 3月		
主たる研究実施機関	名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野 (研究代表者氏名：村井 太郎)		
共同研究機関	別紙【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	放射線科	氏名 杉江 愛生
研究の意義	中咽頭癌に対する放射線治療は現在標準治療として広く行われております。中咽頭癌の治療成績は病理学的所見により予後に差が出るといわれています。 本研究では中咽頭癌に対して根治を目的とした放射線治療を受けた方の治療成績および副作用、病理学的な差を CT 画像の解析結果と比較し、日々の臨床に役立てるかの検討を目的としています。		
研究の目的	研究では中咽頭癌に対して根治を目的とした放射線治療を受けた方の治療成績および副作用、病理学的な差を CT 画像の解析結果と比較し、日々の臨床に役立てるかの検討を目的としています。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報を研究代表者が解析します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢等の基本情報、中咽頭癌の情報、放射線治療の情報、CT 画像等)		
診療情報等の他機関への提供方法	必要なデータを、研究担当者が情報をまとめて、匿名化した状態で研究代表者に直接渡します。なお、データは、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離され、セキュリティーの		

	かかった場所で管理されます。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 放射線科 今井 未来子 電話 052-832-1121 (代表)

## 《別紙》

## 【研究組織】

## 1. 研究代表者

名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野 村井 太郎

## 2. 研究実施施設・共同研究者

所 属	責 任 者
鈴鹿中央総合病院 放射線治療科	村田 るみ
一宮市立市民病院 放射線治療科	村尾 豪之
名古屋第二赤十字病院 放射線科	杉江 愛生
中京病院 放射線科	綾川 志保
刈谷豊田総合病院 放射線治療科	内山 薫
春日井市民病院 放射線治療科	小川 靖貴